

第1回 震災復興有識者会議 議事録

○委員一覧○

	所属等	氏名	専門	備考
1	東北大学大学院工学研究科 災害制御研究センター長	今村 文彦	防災、津波	宮城県震災復興会議 石巻市復興ビジョン懇談会 岩沼市震災復興会議
2	宮城県建築住宅センター 理事長	三部 佳英	技術士（都市及び 地方計画）	
3	東北学院大学教養学部 地域構想学科 教授	柳井 雅也	経済地理学	石巻市復興ビジョン懇談会
4	東北工業大学工学部 建築学科 教授	石井 敏	建築、高齢者施設	
5	(有) ダハプランニングワーク 代表取締役	吉川 由美	文化、教育、観光	
6	国立病院機構宮城病院 病院長	清野 仁	医療	
7	岩手大学農学部 共生環境課程 教授	広田 純一	農業	東日本大震災復興構想 会議

○議事録○

No.	氏名	内 容
1	町長	<p>死者行方不明者は700名を越え、全壊は2,100棟を越えている。</p> <p>復旧から復興への道筋をつけていきたい。町は分散型の地域構造となっており、従来型の制度手法では、太刀打ち出来ないと思う。JRや農業等の課題があり、また行政コストの面からも、よりコンパクトで都市計画を重視した復興を目指していきたい。</p> <p>復興には、大きな構想と、現場への情けが必要だと考えている。</p> <p>より強固で安全な町のためのグランドデザインのために、住民の意向と専門的な知見・助言が必要である。</p> <p>慎重かつスピーディーに進めていきたい。</p>
2	事務局	・委員紹介、資料の確認、座長の任命
3	三部座長	有識者・専門家という立場から、1人7、8分で意見をお願いしたい。
4	石井	<p>高齢者を対象とした建築の計画に主に取り組んでいる。</p> <p>住む人がどういう想いでいるのか、どういう暮らし方をしたいのかというのが重要であり、こうあるべきというのではない。</p> <p>点在しているサービスを上手く集約化し、町の核となる拠点を再構築し作ることが重要である。また人がサービスの拠点まで出向くのではなく、サービスが拠点から地域へ動いていくことと、住民の方々のニーズを捉えてサービスの仕方を考えることが必要ではないか。</p> <p>サービスを集約化することと、住まいの場については分けて考えて良いのではないか。</p> <p>住民の声を聞き、特に弱い立場の方々の意見は表に出てこないのを拾いあげながら、いろんな意見の折り合いをつけていくという、プロセスが重要である。</p>
5	事務局	・山元町の被災状況説明
6	広田	<p>復興むらづくりの計画と事業として、3つのポイントがある。</p> <p>農業の再建は、過去の基盤整備の償還金による2重債務問題に対応する仕事の再建、排水問題等のインフラの再建、また農協がハウス等を含めて農業設備をフルセットで貸し出さないと農業設備の再建は難しい。漁業も同様。</p> <p>住宅の再建は、できれば農家と農地は一緒に好ましい。また、老人は借金をする余力がない。いくつか選択肢を用意するのがよい。公営住宅に入ってもらい何年かしたら払い下げられることでもできるのでは。</p> <p>コミュニティの再建として、いろいろな立場の方が参加する場をつくり、声を上げない方々の意見をひろい、地域コミュニティ主体の復興になるとよい。</p>

7	清野	<p>3年間、仙台から山元町の宮城病院へ勤務している。</p> <p>山元町の長所は、東北の湘南と呼ばれ、海・山・平野があり、仙台より温暖な気候で、太古の昔から住みやすい場所として人が住んできた。短所は、交通アクセス、ショッピング、市街地が広がっていて行政効率が悪いところで、住みたくとも住めない町といえる。若い世代が定住を望まず、H22.9でのH4 7の人口予測では、10,810人である。若い世代の未婚率も県内1位である。</p> <p>仙台圏への通勤と大中型スーパーの2つが、課題として挙げられる。国道6号の西側を中心としたコンパクトシティの考え方、常磐線のルート変更と通勤快速の実施などが必要ではないか。</p> <p>また、町内にある3つの医院と2つの老人施設と宮城病院で、医療の拠点を考えられる。</p> <p>医療を取り巻くキーワードとして、少子高齢化と、Cure から Care へ、というものがある。Cure（治療）が発展したことで、死ななくなったが障害を抱えた人がふえた。そうした人々への Care が必要。涌谷町の事例では、町民と医療福祉センターが、保健、福祉も含めて協力している。医療と、保健、福祉の一体化が必要になってくる。</p> <p>また老人だけでなく、50年100年先の孫世代について考えなければならない。</p>
8	吉川	<p>いちごやほっき貝など、農業や漁業は、住むところと職の場が離れるのはかなり難しい。</p> <p>また、孤独になることを恐れている。公営住宅などでもいかにコミュニティが生まれるかが重要である。コーポラティブなどを公営住宅にとりいれて、昔の近所付き合いのようなコミュニティのあり方が必要である。</p> <p>ハード整備はもちろん、生活者主体でどういう生活が良いのかが、重要である。こういった場には女性が少ないが、女性の住みやすくする知恵が生かされないのではないかとというのが心配である。女性の視点を盛り込む必要があるのではないか。</p> <p>仙台よりも温暖な気候であり、療養などの観光ポテンシャルは高いと思う。どういうまちづくりをすれば、交流人口を増やせるのかを考えなければならない。仕事にもなる。</p> <p>JRの再建は急がなければならない。このままではどんどん人が減ってしまう。駅のある利便性を考えるべき。</p> <p>子供の教育としては、芸術を生かした心のケアやまちづくりによって、子供たちの被害をプラスにケアすることを、学校のカリキュラムに盛り込もうとしている。アーティストをレジデンスするような方法も良いと思う</p>
9	三部座長	<p>配布資料に石巻での意見が載っている。</p> <p>ハードの整備も大事だが、ソフトも必要である。</p> <p>防潮堤、防潮林と避難路の確保が大事である。防災避難ビルとして避難階段を外階段として設置する案もある。</p>

		<p>情報提供や、全員避難を想定した資材の備蓄、保険についてのバックアップなど、総合的な対策が必要である。</p>
10	町長	<p>4人の意見をきいて、これまで考えてきたことと、大きくはずれていない。</p> <p>町、国、独法の一体的な取り組みができるとよい。コンパクトなまちづくりに向けて、都市計画的なアドバイスや、虫食いのない土地利用のよいようにすること、中心市街地のあり方についてのアドバイスをいただきたい。</p>
11	三部座長	<p>医療、教育、文化等施設の中心性のある中心市街地が必要だろう。</p> <p>今まで広く分散して居住してきたということは、広く住みやすかったということだと思う。</p>
12	広田	<p>歴史ある元々の居住地への意向も大切である。利便性のためのコンパクト化ではなく、農業との関係もあり元々の住みやすいというアイデンティティは大切にすべき。</p> <p>中心市街地への集団移転は、選択肢の一つでしかない。機能の集約化は必要だが、住む場所は別。元々の暮らしの独自性は大切である。</p>
13	石井	<p>機能の集約はすべきであるが、暮らしの集約は難しいと思う。いろいろな暮らしがあるのが普通である。</p> <p>ただし、サービスをつなぐ仕組みは必要である。</p> <p>病院があり、医療・福祉の拠点というのは良いが、この拠点にこないとサービスを受けられないのではダメである。</p> <p>町の方向性を示してモデルを発信することで、民間がサービスをする気にさせることが大事。</p> <p>人口減は避けられないので、1万人くらいの町をつくっていくことが大事である。</p>
14	三部座長	<p>吉川さんは、今までにない価値観でという話だが。</p>
15	吉川	<p>ショッピングセンターより、昔からある八百屋等のほうが、最後まで食料の供給など頑張ってくれていた。</p> <p>歳をとってもコミュニティの中で暮らしながら、楽しく買い物ができる地元商店街の集合体があるとよい。若い人も入っていけるようなもので。</p> <p>大きいスーパーが生活の利益になるのだろうか。色んな集落のお店が移転して、歴史を生かして商売を続けられるとよい。</p> <p>南三陸町の病院の話では、コミュニティケアハウスがないと地域医療ができないのではという話が出ている。</p>
16	三部座長	<p>300床ある病院を生かして、拠点となりうるのではないかと思う。</p>

17	清野	<p>石井さんは、地域へ出ていくシステムが必要とのことだが、利便性が悪いと人手が集まらない。</p> <p>広田さんの話のように、住んでいたところに生活再建するだけでは復旧である。+αでかなり大きなものがある。</p>
18	広田	<p>別に、利便性を否定しているわけではない。元のように戻すことも現実的ではない。</p> <p>創造的復興によって、地域のこれまでの課題を解決していくことが必要。</p> <p>何でもコンパクトであれば良いわけでもなく、地域の人意見が必要である。</p> <p>中心市街地活性化も、商店街の方の意識が必要である。道路整備など何をやっても売上に結びつかないなら活性化にならない。今いる人が立ち上がらないといけない。ただ住宅を中心市街地に貼り付けるというものでもない。</p>
19	三部座長	<p>中心市街地、JR、農業・漁業、商工業等について話が出た。町民1人1人のニーズにサービス機能をどう対応させるのか、経営の観点がいると思う。</p> <p>地域コミュニティ、目の前の復旧、地域の力を引き出すこと、50年100年先を見据えたビジョンなどが必要ということであった。</p> <p>この後の議論のきっかけになれば良いと思う。</p>
20	事務局	<p>ありがとうございました。</p>